



測定データはモニターで「見える化」



## 二次加工を行うクリーンルームの様子

The image consists of two black and white photographs. The top photograph shows a large industrial kitchen or food processing facility with a prominent stainless steel vat and various pieces of equipment. The bottom photograph shows a clean room environment where workers wearing full-body protective suits and masks are operating industrial machinery, likely for food processing.

樹脂パイプとして、飲む以外の用途で価値を見出されている。同社が核とする飲料用ストロー事業では、押出成形6ライン体制で、1日当たり約150万本のPP製ストローを生産している。安い価な海外製品への競争力となるのが、あらゆる飲料に適したストローを小ロット生産できる点だ。口径は1~13ミリで0・1ミリ単位、厚みは0・1~0・5ミリの間で製造可能で、金型代は必要ない。

・経験を必要としていたが、自社開発の検査装置を導入し、効率化を図った。口径や厚みを常時自動計測・制御することで誤差を最小限に抑え、品質安定を実現している。

「工業用ストロー」は、小口径かつ高精度なストロー生産体制を備えた同社ならではの提案だ。長さや直徑の加工方法などを顧客のニーズに応えて設計・製造するもので、貝本

・医療器具用加工ばかりなど医療分野まで、採用実績は幅広い。

フレックス(曲げ)  
加工だけではなく、溶着や先端をラップ状にするなど、さまざまな特殊加工に対応。要望へのきめ細かな対応力が顧客の厚い支持につながっている。特に医療分野で引き合いが好調なことから、品質向上のため、2016年にクリーンルームを設置。生産能力を高める

投資にも積極的で、ニーズへ最大限に応えられる体制を築いてい  
る。

シバセ工業

# “使い捨て”の衛生性が好評

種類の多彩なバリエーションを展開。全て1部品の輸送包装・バーコードから販売している。品質管理にも並々ならぬ力を注ぐ。従来は押出・冷却時の空気圧の微調整に専用の工具装置用スピナーハンツ

## エリア特集 「中四国」

投資にも積極的で、二  
一ズへ最大限に応えら  
れる体制を築いてい  
る。